

ケンさんの



いんたーなしょなる

Volume 26

国際コーナー

アメリカ：禁酒法

南北戦争が終わって目的を達成した奴隷制度廃止運動家は次の社会問題に目を向けて、たどり着いたのは、飲酒の課題でした。当時、大量のアルコール摂取によって中毒、肝硬変や乱暴な行為が問題になっていました。そのため、主にキリスト教であった禁酒運動家は飲酒を罪だと認識しました。

禁酒運動によって、1919年にアメリカ合衆国憲法に修正が批准され、1920年に施行されました。それによって、飲用アルコールの製造・輸送・販売は禁じられていましたが、飲酒自体は違法ではありませんでした。

禁酒法はある意味で効果的でした。施行からの数年間、アルコール摂取は7割ぐらい減りましたが、時がたつとともに違法製造の増加で消費量はまた上がりました。ぶどうジュースの生産量も4倍増えました。農家はそのジュースが自宅ワイン作りに使われていることが分かり、ラベルに次のような注意書きを載せました。「濃縮ジュースをお水1ガロンに割って20日間戸棚に置かないください。ワインになる恐れがあります。」これは法律違反を防ぐためと言いながら、作り方の説明にもなりました。

禁酒法でバーは廃業になりましたが違法の飲

み屋があちこちに現れました。そのままストリートに酒を売っている店もありましたが、例えば、動物を見るための店だと主張しながら客へサービスとしてアルコールを提供してごまかそうとする店もありました。薬用酒は禁酒法に該当しなかったため、薬局も爆発的に増えました。それまで賭博と窃盗が主な活動だったマフィアもアルコールの違法製造・輸送・販売に手を出して繁栄しました。

1933年、禁酒法が廃止されました。主な理由は2つありました。まずは禁酒法期間の後半に、アルコール消費量は禁酒法前の7割ぐらいまで回復した事実です。そして一般人が手に入れられる酒はまずくて高かったが、禁酒法施行前に酒を大量買いだめしたお金持ちは変わりなく飲んでいた不公平な事実で、禁酒法は無意味だと思われました。

2つ目は1929年から始まった世界恐慌でした。禁酒法前、酒の課税は税収の14%を占めたため、国民の支援をするための予算が必要になった政府は廃止の検討をするようになりました。

禁酒法の始まりからもう100年も経ちましたが、今でも影響が残っています。アメリカのほとんどでは公共の場(公園、歩道、交通等)での飲酒が禁じられています。

そして警察から逃げるため早い車を運転していた運転手はモータースポーツに目を向けて、そのおかげで現在アメリカの最大の統括団体であるNASCAR協会が設立されました。



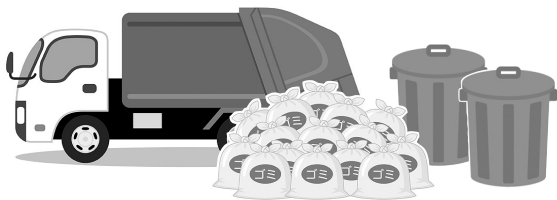
ゴミ集積所「ゴミ箱」購入について

各自治会で設置する「ゴミ箱」の購入に対して助成します。

助成の額は購入金額の1/3(千円未満切り捨て)。上限31,000円です。

申込み

自治会の会長印(会長印が無い場合は会長のハンコ)、自治会の通帳、購入した領収書及び購入した物がわかるカタログ(写し可)をお持ちください。



遭難防止について

山菜やタケノコなどの最盛期を迎えるにあたり、入山による遭難の危険性も高くなります。

知っているつもりでも、一度迷ってしまうと全く知らない山になります。

備えあれば憂いなしと言いますので、自分だけは大丈夫と思わず、以下を参考に準備は万全にして入山しましょう。

■悪天候の日は入山をやめましょう

■家族や近所の人に行き先・帰宅時間は知らせましたか？

■持ち物は確認しましたか？

携行食 防寒着 雨具

GPS付携帯電話 ライター 白タオル

皆さんが無事に帰宅するのを待っている人がいます。遭難には十分注意しましょう。

■お問い合わせ先 町民課町民生活班 (TEL29-3928)